

嚥下の評価（VE・VF）の取り組み

VE（嚥下内視鏡検査）とは、鼻から鼻咽喉ファイバー（軟性鏡）を挿入した状態で、咽頭の動きを観察し、食べ物や飲み物を摂取していただき、嚥下（飲み込み）の観察・評価をする方法です。

VF（嚥下造影検査）とは、レントゲンをあてながら、バリウムが入った模擬食品を実際に食べていただき、食べる機能に異常がないか調べる検査です。

豊田えいせい病院では、平成30年度の1年間に493件(月平均41.1件)の嚥下の評価を行いました。食事をするということは生活をしていく中でのひとつの楽しみだと思います。ムセや飲み込み辛さなどの症状がありましたら、当院へお気軽にご相談下さい。（かかりつけ医が別の医療機関の場合、まずはかかりつけ医の先生にご相談してください。）



横須賀Dr.による
VE（嚥下内視鏡検査）の様子



横須賀Dr.による
VF（嚥下造影検査）の様子



リハビリ新聞
豊田えいせい病院



2019年
7月25日
第3号

静岡県理学療法士学会

2019年6月15日、16日に静岡県理学療法士学会開催されました。当部からは奥川莉帆（理学療法士）が「既往に房室ブロックがあり運動時に洞調律波形がでた外傷性くも膜下出血を呈した症例」について発表させて頂きました。

より良いリハビリテーションを行えるように、学会発表等にも積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



静岡県理学療法士学会会場



リハビリの様子

診療技術部 職員の紹介

回復期リハビリ科
主任
山本健太(理学療法士)



当院が回復期病棟を開
設し6年目になりました。
回復期病棟では患者さん
の身体機能や生活能力を
出来る限り回復し、退院
に向けて支援をすること
が使命です。その当たり
前のことを突き詰め、地
域に貢献できるようみん
なで頑張っていきます!!

時代が令和に変わりリ
ハビリも変化の時を迎え
ています。新しいものへ
の適応には“挑戦”が必要
で、療養リハ科も常に何
かに挑戦する！そんな科
になる事を望んでいます。
その1歩目を牽引できる
事！が私個人の目標です
【座右の銘】
コツコツが勝つコツ

療養リハビリ科
主任
平尾嘉信(理学療法士)



8月17日（土）
18:00～19:00
恵成会 夏祭り
会場：豊田えいせい病院

豊田えいせい病院 診療技術部
回復期リハビリ科 TEL：0538-34-6123 FAX：0538-34-6231
療養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通
通所リハビリ科 TEL：0538-34-6223 FAX：0538-34-6222
訪問リハビリ科 TEL：0538-34-6137 FAX：0538-34-6231